多摩区制40周年記念「三大学知的探訪」

公開講座とキャンパスツアー開催

「川崎の古墳を考える」文・土生田教授が講演

12月1日、生田キャンパスで多摩区・3大学連携協議会主催「三大学知的探訪」公開講座とキャンパスツアーが行われた。

区制40周年を迎え、地域や各大学への理解を深めてもらおうと企画されたもので、同区内に立地する専修大学、明治大学、日本女子大学の各大学持ち回りで公開講座やキャンパスツアーを実施。昨年に続く第2弾となる。

公開講座では「川崎の古墳を考える」と題し、土生田純之文学部教授が講演。4世紀から7世紀に川崎市域を含む南武蔵地域に存在した古墳群の変遷をたどり、川崎市領域がどのように形成されてきたかを考察した。市民170人が参加し、熱心に耳を傾けた。

川崎市には、4世紀に築造された全長87㍍の前方後円墳・白山古墳（幸区日吉・消滅）や、7世紀の横穴式石室の特徴を遺す馬絹古墳（宮前区馬絹）など有力な古墳があり、これらはヤマトタケルの東国進出物語やその後の勢力交代に密接な関係があると考えられている。

土生田教授は「古墳の形状や副葬品から大和政権の影響力や関係性の深さを知ることができる。最近になって高津区蟹ヶ谷の古墳群から6世紀ごろにつくられたと見られる前方後円墳が発見され、川崎市の古代史の謎を解くカギになるのではと期待している。今後も積極的に調査を行っていきたい」と話した。

講演後、希望者を対象としたキャンパスツアーが行われ、参加者は、学生食堂に立ち寄り、キャンパスの雰囲気を満喫した。

▶ 市民170人が熱心に聴講した

▲ 講演するロバート・A・レスコーラ氏

社会知性開発研究センター 心理科学研究センター

「連合学習」をテーマに国際シンポジウム開催

11月10日、神田キャンパスにおいて、社会知性開発研究センター・心理科学研究センター主催（玉川大学グローバルCOEプログラム「社会に生きる心の創成」、日本動物心理学会共催）国際シンポジウム「Expansion of associative learning theory」が開催された。

心理学の学習理論の一つである連合学習を主題に、ロバート・A・レスコーラ（Robert A. Rescorla）ペンシルバニア大学名誉教授、中島定彦関西学院大学教授、鮫島和行玉川大学准教授が講演。

連合学習の最新の知見や研究方法、神経科学などの隣接領域での応用など、さまざまな話題を紹介し、連合学習が単純で動物の研究にしか使えないものではなく、豊かな研究領域を有するものであることを再認識した。

シンポジウムには約70人が参加、講義はすべて英語で行われた。

概要説明と研究報告および司会進行を澤幸祐研究員（人間科学部准教授）が務めた。

講演テーマは次のとおり。

ロバート・A・レスコーラ氏「Measuring changes in associative learning」

中島定彦氏「Information variables in Pavlovian conditioning preparations: One more piece of evidence」

鮫島和行氏「Neural basis of conditioning and reinforcement learning: A mechanistic perspective on learning and decision」／畑穣氏（元早稲田大学教授・元九州大学教授・元名古屋経済大学教授）／棚澤能生氏（早稲田大学教授）

司会＝白藤博行専修大学法学部教授

問法学研究所☎03（3265）6888

公認会計士試験

卒業生9人が合格

2012年の公認会計士試験合格者が11月12日、金融庁の公認会計士・監査審査会から発表され、本学からは卒業生9人が合格した（12月10日現在判明分）。

合格者のうち8人は本学エクステンションセンターが開講する会計士講座の受講生だった。

※合格者の詳細は次号の「ニュース専修」に掲載します。また、合格者情報をお持ちの方はエクステンションセンター事務課（神田☎03・3265・6208、生田☎044・911・1268）にお寄せください。

髙橋義仁商学部教授の研究が学外助成に採択

髙橋義仁商学部教授の研究助成「製薬企業ぼす影響）が、一般財団法人島原科学振興会より助成採択された。

企業の経営理念が市場牽引型創薬研究開発力に及の経営理念」（製薬企業の経営理念が市場牽

最終講義のご案内

〈12月11日現在〉

学部・学科に関係なく、どなたでも受講できます。卒業生もご参加ください。

◆奥原宇文学部教授
▽日時＝12月20日（木）2時限
▽場所＝生田キャンパス10302教室
▽タイトル＝Irish Revival と Modernist Joyce

◆青山高義文学部教授
▽日時＝1月16日（水）4時限
▽場所＝未定
▽タイトル＝私の気候学45年

公開講座情報

法学研究所シンポジウム

企画・映画と講演のタベ「小繋事件から自治と所有の原点・現点を探る」

岩手県小繋村で50年にわたって争われた入会権をめぐる「小繋事件」を映画と3氏による講演で考察し、自治と所有の原点と現点を探る。

▽日時＝1月18日（金）17時～
▽場所＝神田キャンパス731教室
▽プログラム
【第1幕】映画「こつなぎ　山を巡る百年物語」上映
【第2幕】「小繋事件を語る」講演者＝戒能通厚氏（名古屋大学名誉教授・早稲田大学名誉教授）

専修人の新しい本

ウィーン演劇あるいはブルク劇場

寺尾　格著

本書では、モーツアルトなどの音楽で知られたウィーンではなく、「現代演劇」を通した今のウィーンの姿を知ることができる。ドイツ語圏においてウィーンがベルリンと並ぶ上質の舞台を提供していることは、日本ではあまり知られていない。

ウィーンの歴史地区にあるブルク劇場。ドイツ語圏演劇のシンボル的存在で、オーストリアの国民性を表象する劇場だ。1986年から99年まで劇場監督であった独人のクラウス・パイマンは、それまでの古典に加えて、現代劇を積極的にレパートリーに組み入れ、ブルク劇場の革新に寄与した。反オーストリア的な作品を書いたオーストリア作家のベルンハルトやトゥリーニ、ノーベル賞作家のイェリネクなどの作品だ。

そんなエピソードとともに、上演に関する記録やイェリネクらの文体に対する考察、ドイツ語発音についてのページもあり、興味深い内容となっている。

（論創社・本体2500円＋税）

著者（てらお・いたる）＝経済学部教授。主な担当は「ドイツ語」

増補改訂　米国の大統領と国政選挙—「リベラル」と「コンサヴァティブ」の対立—

藤本　一美共著

本書はトルーマンからオバマ大統領まで、米国における戦後の歴代大統領とその選挙戦について論述し、さらに中間選挙が年代順に並べて分析されている。これらの選挙を対立軸に見立てて、米国が直面してきた政治・経済・外交・軍事上の争点を提示し、その上でリベラルとコンサヴァティブの対立の視点から、米国政治のダイナミクスに迫った。

第1版は2004年の刊行。今回の増補改訂版ではオバマ大統領の解説と、08年大統領選挙と10年の中間選挙の結果が書き加えられた。

（専修大学出版局・本体2400円＋税）

共著者（ふじもと・かずみ）＝法学部教授。主な担当は「政治学原論」

大相撲行司の軍配房と土俵

根間　弘海著

本書は大相撲の行司に関するもので、次の8章で構成されている。

▽1章・立行司も明治11年には帯刀しなかった
▽2章・上覧相撲の横綱土俵入りと行司の着用具
▽3章・明治17年の天覧相撲と現在の土俵入り
▽4章・行司の黒星と相撲の規定
▽5章・草履の朱房行司と無草履の朱房行司
▽6章・行司の木村姓と式守姓の名乗り
▽7章・行司の改名に関する研究
▽8章・大正時代の番付と房の色

大相撲の脇役である行司には長い歴史があり、研究に値する価値がたくさんあるが、体系的に深く研究した論考は非常に少ない。本書に取り上げられた話題は、これまでの類書ではあまり深く研究がされていないもので、本格的な研究書としては初めてである。内容の提示に関してもオリジナリティーが高いものになっている。

（専修大学出版局・3200円＋税）

著者（ねま・ひろみ）＝経営学部教授。主な担当は「英語」

いのちの倫理

大庭　健著

その人のいのちは、その人しか生きることができない。しかも、単に生きているだけというのではなく、生きる主体であるということは、「どう生きるかは自分が決める」ことができることを伴う。だから、自分のいのちは自分の「持ち物」と言っていいのか。

本書で著者は、生きることを「プロジェクト」と捉える現代人の人生観は「いのちの私有化」にほかならず、いのちの軽視をもたらすとして批判。

自我ない一人称を実体化する発想こそが、「有害ないのち（ロングフル・ライフ）」訴訟から「脳不全＝死」という移植論議にまで一貫して見られると強調する。

現代におけるいのちの認識のゆがみを鋭くえぐり出し、今あるべき倫理を問いかける。

（ナカニシヤ出版・本体2200円＋税）

著者（おおば・たけし）＝文学部教授。主な担当は「倫理学概論」「社会哲学」

ホームページモニター募集

年に数回のアンケートにご協力いただくモニターを募集いたします。

▽募集人数＝本学学生・大学院生（50人）、卒業生（30人）、在学生のご父母・保護者（20人）

▽募集期間＝12月20日（木）～2013年1月6日（日）

▽応募方法＝ホームページの応募要領をご覧の上ご応募ください。

※お問い合わせはホームページ運営委員会事務局（広報課）にEメール（hpcomm@acc.senshu-u.ac.jp）で。